

# HIC通信

Hiroshima International Center

Vol. 78  
October 2012

## 「ひろしまグローバル人財養成講座」スタート！



【第1回講師】左から  
広島大学名誉教授  
ESD-J 代表理事  
青年海外協力協会  
これからの学びネットワーク

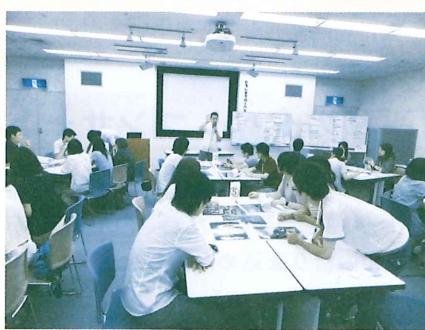
中山 修一様  
重政子様  
堀田 直揮様  
堀江 清二様

8月18日(土)に「ひろしまグローバル人財養成講座」がスタートしました。定員を超える応募者の中から抽選で選ばれた24名の受講生は、県内7大学の学生、留学生、社会人という多様な構成となりました。所属や年代を越えた人同士の出会いも大切にしたいという声も上がり、明るい雰囲気でスタートできました。

**第1回「グローバル人財に求められる資質とは」**

7回シリーズの第1回は、この講座がめざす「グローバル人財」について、本講座の全体コーディネーター、これから学びネットワークの堀江さんの進行により進められました。堀江さんから、「物事の見方は、見る方向によって様々である。このことで個人間レベルから国家間レベルまで問題となっていることは多い。様々な価値観を調和させることができる力を身に付ければ、あらゆる場面で活躍できる人材になれる。この講座では各テーマに答えは用意していません、受講生のみなさんが考えていくください。」といった趣旨のお話がありました。

次に、青年海外協力協会の堀田さんによるワークショップが行われました。「地球家族」という写真を使い、「豊かさ」についてグループで考えました。受講生からは「豊かさ」とは何なのかこんなに考えたことはなかった。」「各個人で豊かさの定義は異なっており、それを知ることで自分の視野が広がった。」「お互いが理解し合える場を作ることができる力の重要性を感じた。」「これから社会がGDPだけでは測れず、私たちの世代が自分達で指標を選んでいくのだということを考えていきたい。」などの声があり、多くの学びを得たようでした。その後、「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J)代表理事の重政子さんによる講義がありました。持続可能な社会づくりのための世界の動向、まず重要なのは人づくりである、自分が何者であるか、自分の長所短所を知ること、子供、若者が自ら考えて行動できる環境づくりが未来をつくる人を育てる、遠くの国のことばかりでなく、自分の住む地域について知る、好きになる、課題に関わることの大切さなどについて、簡単なワークショップを探り入れながら進められた重さんの時間はあっという間に流れました。



堀田さんによるワークショップ

### ◆目次

- 2面 交流部だより 他
- 6面 國際プラザニュース
- 7面 こちらJICAデスク
- 8面 サミット加盟団体だより

- 9面 Upcoming Events News
- 10面 國際交流ひろば 他
- 11面 Hello Hiroshima
- 12面 HIC交流部からのお知らせ 他

最後に、中山修一広島大学名誉教授により、第1回講座の総評と広島における市民活動等の動向についてお話をありました。県と市の国際平和貢献施策の構図の成り立ちから現状の課題も含め、大変分かり易く説明いただきました。そして受講生へ、「MVP（Mission：使命・目的、Vision：将来展望、Passion：情熱）と同じくする数人が集まれば、市民活動を開始できるので、是非平和で持続可能な社会の構築をめざす新しい市民活動がはじまることを期待したい。」というメッセージを送られ、終了しました。インターネットを検索しても出てこない中山先生のお話に多くの受講生が興味を持ち、自分の住む広島の現状について知らないことがたくさんあったことに気付いたようでした。受講生からは「世界で目につくグローバルな問題にだけ目を向けるのではなく、自分の住む場所での平和で持続可能な社会構築をめざし、そのためにまずは広島についてもっと知る必要があり、それが第一歩だと気づいた。」という感想が聞かれました。

## 第2回「一人一人の気持ちや主体的な行動を促す場づくりを体験」

### 「JICA国際協力推進員 大塚さんの体験談」

翌19日(日)、前日に続き、第2回講座を実施しました。この回では、座学ではなく、価値観の違う人々との「合意形成」を活動型のグループワークで学びました。簡単なワークから徐々に難易度が上がり、体力的にもきつくなってしまい、グループ内で本音を出さずにはいられない状況に置かれていきました。そんな中でチームワークを発揮するために各々がどのように貢献したかについて振り返りました。受講生からは「ひとりひとりの100%は全く異なっており、そこを理解しないとみんなで何かの目的に向かっていく際に大きな差が生じることが分かった。お互いを理解し、フォローすることで大きな力となり壁を乗り越えることができると気づいた。」「異なる6人だからできること、一人ひとりが違うということはとても大切なことに気付いた。私も自分の個性を大切にしたい。」といった感想があり、体を使った活動から得た学びは大きかったようです。

講座の第2部は当センターに駐在している、JICA国際協力推進員 広島県担当の大塚善久さんの体験談を聞く機会を設けました。車の販売会社のトップ営業マンから転身し、青年海外協力隊員としてアフリカのマラウイ共和国に赴任され、帰国後、現職に着任されました。人間味あふれる大塚さんの体験談、体験に基づく海外に通用するために大切な資質についてのお話を受講生みんなが引き込まれていました。詳しくは、本紙P.7「こちらJICAデスク」のページをご覧ください！



活動型グループワーク  
みんな本気で勝負！



(佐藤)

## 交流部だより

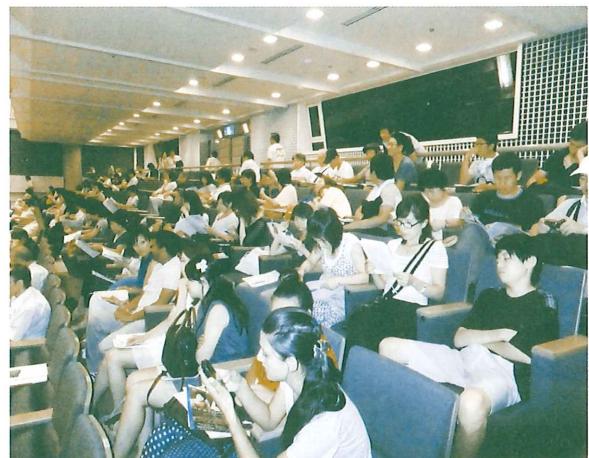
### 「平和のタベ」コンサート

8月5日(日)、広島交響楽協会の主催事業である「平和のタベ」コンサートにご招待いただき、広島県内の留学生4カ国計26名の方々が平和の祈りを込めた演奏を鑑賞しました。

「平和のタベ」コンサートは、毎年8月6日「原爆の日」の前に平和をテーマとして開催され、今年は、音楽監督・常任指揮者の秋山和慶氏のもと、韓国出身のバイオリニスト、パク・ヘウン氏がソリストを務め、美しい演奏を披露していただきました。

参加者のみなさんは、「素晴らしい演奏で感動しました。」「とてもいい席で素敵な演奏を聴くことができてよかったです。」等の感想が寄せられ、普段聴くことのできない交響楽団鑑賞に大変満足されていたようでした。

(大辻)



参加者の様子

## 平成24年度留学生奨学金決定通知書授与式・交流会を開催

当センターでは、留学生支援の一つとして、県内の大学・短期大学に通う外国人私費留学生を対象とした奨学金支給事業を行っています。企業・団体からの寄附（1口370,000円）による「企業等留学生奨学金」、県民の皆様からの寄附（1口5,000円）による「県民支援留学生奨学金」、センターの一般財源による「センター留学生奨学金」の3種類からなり、私費留学生一人当たり月額3万円を1年間支給します。

今年度も選考の結果、それぞれ、51名、2名、7名の計60名の奨学生が決定し、去る7月2日に奨学金決定通知書授与式・交流会を開催いたしました。

授与式では、ご協力頂きました企業・団体の代表の方から、奨学生に決定した留学生一人ひとりに決定通知書が手渡され、固い握手が交わされました。更に、奨学生を代表して、広島市立大学の奨学生が挨拶し、感謝の言葉を述べると共により一層勉学に励み、早く卒業して社会に役立つ人材になることが重要であるとの強い思いを流暢な日本語で語りました。また、10年・15年・20年と長きにわたり当事業に連続してご協力頂いた4つの企業・団体の皆様に当センターの高木会長から感謝状が贈呈されました。



奨学生代表挨拶



20年連続ご協力頂いた(株)中電工様(右)  
と当センター高木会長(左)

授与式後の交流会では、奨学生は協力頂いた企業・団体の皆様と歓談し、改めて感謝の言葉を述べるとともに学生生活や母国との話に花を咲かせ、交流を深めました。更に、奨学生には、県内企業に就職が内定している元奨学生と既に県内企業で活躍する元留学生の先輩方から、激励の言葉とアドバイスを頂きました。奨学生の皆様には、勉学のみならず、日本・広島の文化等についてもよく学び、日本と母国との懸け橋となっていたいと願っています。

ご協力頂きました企業・団体の皆様、県民の皆様、本当にありがとうございました。

(地主)

### 「企業等協力奨学金制度」協力企業・団体一覧（50音順・敬称略）

- (株)あじかん
- (株)アスティ
- (株)石崎本店
- (株)いとや
- (株)ウッドワン
- (株)NTTドコモ中国支社
- 賀茂鶴酒造(株)
- カルビー(株) 広島工場
- 国際ソロプロミストウエストひろしま
- 国際ソロプロミスト広島
- 国際ソロプロミスト平和広島
- 住野工業(株)
- (株)第一学習社
- (株)大創産業
- 財団法人多山報恩会
- (株)中国新聞社
- 中国電力(株)
- (株)中国放送
- (株)中電工
- 中電プラント(株)
- (株)テレビ新広島
- (株)東洋シート

- トヨエイテック(株)
- 南条装備工業(株)
- パブコック日立エコークラブ
- 広島ガス(株)
- (株)広島銀行
- 社団法人広島県医師会
- 財団法人広島国際文化財団
- 広島信用金庫
- 広島テレビ放送(株)
- 広島電鉄(株)
- (株)広島東洋カープ
- (株)広島ホームテレビ
- (株)福屋
- (株)プローバ
- マツダ(株)
- (株)マツダE&T
- マツダエース(株)
- マツダスチール(株)
- マロックス(株)
- 三島食品(株)
- (株)もみじ銀行
- (株)モルテン

(計44企業・団体)

(財)ひろしま国際センター

企業等協力・県民支援・センター 留学生奨学金決定通知書授与式



相互に感謝と期待を込めて固い握手を交わす奨学生と協力企業

### 連続協力企業（50音順・敬称略）

20年連続：(株)中電工

15年連続：(株)石崎本店

10年連続：

(財)多山報恩会、(株)プローバ



交流会でテーブルごとに記念撮影



激励の言葉をくれた元奨学生と元留学生の  
先輩方

### HIC外国人総合相談窓口 専門相談員紹介

HICは広島県内で暮らす外国人の皆様が、安心して暮らしていただけるよう「外国人総合相談窓口」を開設しています。この窓口では、在留資格や社会保険・労働問題などの専門的な相談や暮らしに関する相談を、中国語をはじめとする6ヵ国語で提供しています。71号(平成23年1月1日発行)より、窓口で相談業務に携わる専門相談員の方々をご紹介していますが、今回第6弾をお届けします。

#### 【相談体制】



外国人総合相談窓口

相談時間 (火・木) 10:00~12:00, 13:00~16:00  
(土) 9:30~12:30

(専門分野)

在留資格(ビザ他), 社会保険, 労働問題

(通訳)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| ・中国語         | ・ポルトガル語          |
| ・韓国語 (木)午前のみ | ・スペイン語 (木・土)午前のみ |
| ・英語 (土)午前のみ  | ・フィリピノ語 (火)午前のみ  |

フリーダイヤル 0120-783-806  
携帯電話からは 082-541-3888 (直通)

①名前(ふりがな): 塚本 ウェンディ(つかもと うえんてい) / 国籍: ペルー

②専門分野: ポルトガル語通訳

③専門分野に取り組んだきっかけ

日本に住んで10年になります。困っている外国人を助けてあげたいと思ったからです。

④専門相談受付日時・相談内容

毎週火曜日・木曜日 10:00~12:00, 13:00~16:00

毎週土曜日 9:30~12:30

⑤ひと言

日本語の分からない外国人は、たくさんいると思います。

私は、できる所まで助けてあげたいです。



### 外国人相談窓口担当者研修会の開催

6月21日(木)に第1回(日本語学習支援窓口担当者研修会と合同開催), 8月3日(金)に第2回の外国人相談窓口担当者研修会を開催しました。

各市町の外国人窓口の担当者や相談員を対象にした研修で、外国籍住民の方を支援していく上で必要な知識を学ぶことを目的に、昨年に続き開催しました。

第1回は「ことば」について考える"をテーマに、「外国語体験」と「やさしい日本語」をワークショップ形式で行い、外国語で一方的に話かけられた時の心情を体験してもらうことや、私たちが普段何気なく使っている日本語をやさしい日本語に置き換えて伝える言い方について、話し合いました。

また、第2回の第1部では、7月より改正施行された「外国人在留管理制度」をテーマにNPO法人ビザサポートセンター広島の益田浩司理事長を、第2部では「外国籍住民への医療・福祉支援活動」をテーマにMICかながわの三木講師に講演をお願いしました。

「外国人在留管理制度」では、新しい制度での相談事例や、在留カードの仕組み等外国人窓口担当者として、業務に必要な内容について分かりやすく説明いただきました。また、第2部の「外国籍住民への医療・福祉支援活動」では医療通訳システムを確立している神奈川県での事例を説明していただき、外国籍住民が医療にかかる際に、医療通訳が必要不可欠であることを強く感じさせられました。  
(大藤)

### 留学生のための実用日本語研修開催について

広島県内の大学・短期大学及び高等専門学校で学ぶ留学生を対象に、就職に必要な実用日本語の研修を8月8日(水)から24日(金)までの間に6日間の日程で広島、福山、東広島地区の3会場で実施し、31人の留学生が修了しました。

この研修では、ビジネス日本語を題材にして、「書く」「読む」「話す」「聴く」ことの技術及び日本でのビジネス文化に関する知識の修得を図ることを目的としており、修了生のうちインターンシップを希望する19人は、9月に企業での体験学習を行い、県内企業についての理解も深めました。

今後、広島県留学生生活躍支援センターでは、留学生への就職支援として、就職活動実践セミナーや第2回留学生合同企業説明会及び就職活動個別コンサルタントの実施などにより、強力なサポートを行って、優秀な留学生の定着を促進してまいります。

(留学生生活躍支援センター 空)



(8/24 広島会場 修了式)

### 日本語ボランティア支援講座開催について

7月22日(日)に第1回日本語ボランティア支援講座を開催しました。日本語教室等で活躍しているボランティアや日本語の学習支援に関心がある人を対象にしたものです。

首都大学東京の野元弘幸氏を招き、愛知県豊田市の日系ブルジル人集住地区「保見団地」から見えてきた「顔の見える人間関係」や「課題提起型日本語教室」について説明いただきました。

参加者からは、「生活環境や人に関わる問題に触れる大切さ」、「サンダル履きで仕事帰りに気軽に立ち寄れる教室づくり」、「文法よりも日常生活での活きた日本語と一緒に習得」する話に賛同する声が聞かれました。参加者のみなさんがこれまでの活動について再考するきっかけになったようです。  
(野口)



### 熊野町共催「筆の都 熊野町で地域交流と筆の里工房見学」開催について

8月18日(土)に熊野町民会館と筆の里工房にて、熊野町の町民の方と外国の方との交流会が実施されました。

当日は班ごとに分かれ、町民ボランティアさんのご指導のもと、「竹とんぼ作り」や「けん玉」に興じ、おにぎりや地元料理「八寸」を作るお手伝いを行い、交流が深まったところで、午後からは、みんなで好きな言葉に思いを込めて「平和の一文字プロジェクト」に参加しました。筆を握るのは初めてという外国人の方も多くて、大いに盛り上りました。最後に、歌や踊りで親交を深め、再会を誓いました。また、筆の里工房では、筆職人さんの技術にみな興味津々で、日本文化の奥深さも学べたようでした。  
(河内)



けん玉っておもしろい！



どの文字にしようかな？



みんなで記念撮影！

### ワールドクッキング教室受講者を募集中！

世界の料理や文化を気軽に体験することができるワールドクッキング教室は、後期の受講者を募集中です。教室は月1回で、火曜日クラス・木曜日クラスの2クラスです。料金は5回で7,500円です。興味のある方は是非、お問い合わせください。



デンマーク料理(平成24年8月)

#### 【参考～後期開催内容】

	第1回 11月	第2回 12月	第3回 1月	第4回 2月	第5回 3月
日 稲	20日(火),29日(木)	11日(火),20日(木)	15日(火),24日(木)	19日(火),28日(木)	19日(火),28日(木)

後期の料理は、ガーナ料理、ミャンマー料理、スリランカ料理等を予定しています。

\*日程や料理の予定は、事情により変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 10/19(金) 広島中央サイエンスパーク施設公開開催（10時～16時）

東広島市鏡山の当パークに立地する研究機関等が施設の一般公開、講演会を行います(無料)。

研修部は、この日にひろしま国際プラザに在館する研修員の国旗を展示します。また、来場者には外国のお茶などの飲物を無料でサービスします(ただし数に限りがあります)。他の研究機関等でもこの日のための特別な実験を公開したり、楽しいイベントが開催されます。ぜひ広島中央サイエンスパークにお越しください。

### 11/3(土)～11/4(日) 東広島市生涯学習フェスティバル出展(土曜:10時～16時, 日曜:9時半～15時半)

東広島運動公園（アクアパーク）で行われるこのフェスティバルに、ボランティア募集ブースを開設します。

ボランティアは通訳だけではありません。竹馬やメンコなど伝統的な日本の遊びを紹介いただいたり、日本家屋を拝見させていただけたり、ホームステイのホストになっていただいたりなど、いろいろな形があります。

国際交流・国際協力に興味をお持ちの方、どのような活躍の場があるかわからない方、ぜひブースにお立ち寄りください。

### HICオレンジサポーター募集！

研修部が実施する研修等の事業に参加し、お手伝いしていただけるボランティアを募集しています。登録分野は下記のとおりです。興味のある方はぜひお問い合わせ・ご登録ください。

区 分	協 力 内 容
ホストファミリー	ホームステイ・ホームビジットの受入れ
通訳・ガイド・翻訳	研修部事業での通訳・ガイド・翻訳
生活アドバイザー	日本での生活に関する情報提供

#### ★お申込み・問合せ先

財団法人ひろしま国際センター研修部

〒739-0046 東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

(電話082-421-5900 FAX082-421-5751)

・事務室開室時間 月～金 9:00～18:00

・情報センター・図書室開室時間 毎日 10:30～19:00 (平日は13:30～14:30休室)

URL : <http://hiroshima-ic.or.jp/hip/>

E-mail : [hicc@hiroshima-ic.or.jp](mailto:hicc@hiroshima-ic.or.jp)



広島から世界へ！9月下旬より、広島県出身の2人が青年海外協力隊員として、モロッコ・スリランカの2カ国に向けて出発します！



### 《青年海外協力隊》 (左から氏名・派遣国・職種)

山内 こづえ モロッコ 助産師  
西谷 文 スリランカ 青少年活動

### 赴任中の広島県出身 JICAボランティア(人)

区分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	17	20	37
シニア海外ボランティア	19	0	19
日系社会青年ボランティア	0	0	0
日系社会シニアボランティア	0	2	2

平成24年8月31日時点

## ～HIC主催「ひろしまグローバル人財養成講座」にてJICAの国際協力出前講座を実施～

JICA国際協力推進員（広島県担当） 大塚 善久（平成18年度 マラウイ派遣 村落開発普及員）

平成24年8月19日のHIC主催「ひろしまグローバル人財養成講座第2回」で、約50分間に亘り、国際協力出前講座を実施させていただきました。

今回の講座では、私のこれまでの海外経験をベースに、私なりにグローバル人財に必要な素地だと思う【挨拶、礼儀、謙虚さ、モラル、思いやり】など、これまで家庭や学校、日本社会から教わってきたごく当たり前のことを行動に移せてこそ、次のステップに進めるようになるのではないかとお話をさせていただきました。（私もまだまだいたらぬ点が多いのですが）

私が2年間、青年海外協力隊員として派遣されていたアフリカのマラウイは、日本がデジタル社会だとすれば、それこそ超がつくほどのアナログ社会でした。電気・水道がある家庭はほんの一部ですし、道路の陥没なども普通です。町のマーケットでは、下着から布団までが中古で売られ、肉屋では蠅のたかった肉を骨ごと巨大な包丁を使ってたたき切る。100キロ近い白トウモロコシが入った袋を自転車の荷台に載せ、浮き上がる前輪を必死に両手で沈みこめながら大粒の汗を流し歩く初老の男性。そのような日本では決してあり得ない光景が、日常に溢れていきました。

コミュニケーションを大事にする現地の人たちは、良く私の家にやってきました。「算数を教えて」と来る近所の子どもには、石を使って足し算や引き算を教える。「3人の娘の誰かを嫁にして日本に連れて帰って欲しい」と、近所の中年女性。人々は常に「会話」と「笑い」を大切にし、共に助け合い、人間らしく必死に生活していました。

今思えば、言語、文化、宗教観など全てが違う国で受け入れられたということは、「生き抜いた」のではなく、まさしく「生かされた」のです。仲の良かったマラウイ人の一人が、私にこんなことを言ってくれました。「ヨシ（私のこと）は約束を守り、嘘をつかない。何より人間同士の情やコミュニケーションを大事にする」と。このように思ってもらえたことは、私がではなく私を通じて、日本という国のファンになってもらうきっかけになったはずです。日本人として幼いころから教わってきた当たり前の美德が、世界で、しかもアフリカの小国でも通用するのです。

逆に考えると、例え海外旅行であっても、一歩日本から出れば、その人の言動が「日本代表」として見られるのです。講座の中では、海外での危険、日本人の弱点とも言える内容についても触れましたが、これから世界に飛び出す人にとって、何かしらの意識変化や新しい価値観形成に繋がれば嬉しいです。

『国が豊かになっても、心の豊かさだけは失ってはならない』この想いはマラウイでの2年間を通して、日本に対して強く思ったことですが、これに加え、今回の講座を受講された自分より若い方々に伝えたいことが山ほどありました。おこがましいかも知れませんが、国が実施するボランティア事業に参加させていただいた私が、次世代に発信すべきことは、単に自分の体験談や苦労話だけを経験として伝えるだけであってはならないという想いが強くあります。

揺れ動く現代社会だからこそ、日本人としてのアイデンティティを持ち、広い視野で学びを深め、規律を持って損得勘定抜きにそれぞれが経験を積む。その結果、日本の良さを再認識し、抱える課題を実感できるのではないかと思いますし、国際協力の役割や重要性も自分の国を知ってこそ、改めて感じることができる気がします。このような想いで、「グローバル人財」を目指す方々の前で、体験談や想いを伝えさせていただきました。

最後になりますが、ご清聴下さった受講生の方々、本当にありがとうございました。



グローバル人財養成講座での発表の様子

## 【JICAボランティア体験談＆説明会のお知らせ】

JICAボランティアの平成24年度秋募集を、10/1～11/5までの期間で実施します。広島県内では、4ヶ所の会場で合計5回の体験談＆説明会を開催します。広島市内では、「広島市まちづくり市民交流プラザ」にて計2回、東広島市では「JICA中国」と「広島大学大学会館」で1回ずつ、福山市では「福山市生涯学習プラザ」にて開催します。制度説明に加え、OB/OGの体験談も実施しますので、是非お気軽にご参加ください。詳しい日程・時間につきましては、JICA中国のウェブサイトからご確認ください。

<http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/volunteer/setsumei/jocv.html>

(広島県JICAデスク 大塚)

## サミット加盟団体だより トーストマスターズクラブ



「世界と話す人になる」

### トーストマスターズクラブとは…コミュニケーションとリーダーシップのスキルを磨こう！

「人前で話すのが苦痛…」「プレゼンが不安…」など「話すこと」についての悩みは日本人特有のものでしょうか？トーストマスターズの活動を始めたのは、実はスピーチが得意そうなイメージがあるアメリカ人なのです。日本中、世界中の仲間と一緒に、「話すこと」を苦手から楽しみに変えてみませんか？

私達トーストマスターズ・インターナショナルは、パブリック・スピーキング(人前で話すこと)、話し方、聞き方、考える力などのコミュニケーションのスキルと、それに伴うリーダーシップ・スキルの上達を目的とする、国際的な非営利教育団体です。1924年にカリフォルニアでスタートし、今では116カ国、1万3千以上のクラブで、約27万人がトーストマスターズ・インターナショナルのプログラムを実践し、なごやかな雰囲気の例会で、楽しみながらスキルを磨いています。

日本にも120以上のクラブがあり、その6割は英語で活動する英語クラブです。会員は英語で仕事をする人、語学力をつけた人、ネイティブ・スピーカーなど様々です。また、日本語で活動する日本語クラブや、日本語と英語の両方で活動するバイリンガルクラブもあります。

### 広島トーストマスターズクラブ…会員募集中！ ゼひ見学においでください。

広島トーストマスターズクラブは、広島県内にある5つのクラブの中で最も古く、会員数が40名を超える日本でも最大級のクラブです。その活動の活発さとクオリティの高さは、全国のトーストマスターズクラブの中でもトップクラスです。18歳以上ならどなたでも入会資格があります。英語力に関しては、ある程度の能力がある方々の入会を前提にしたクラブ運営がなされていますが、ベテラン会員が新入会員の相談係を受け持つメンター制度により、初心者の方にも安心して参加いただけるようになっています。私達の例会は刺激的なだけでなく、いつもユーモアと笑いに溢れています。見学者をいつも大歓迎していますので、ゼひ一度私達の例会に参加してみてください。



- ★ 活動日時：毎月 第二土曜日 18:30 - 21:00 & 第四金曜日 19:00 - 21:00
- ★ 活動場所：広島市西区民文化センター 3階 大会議室C
- ★ ホームページ：<http://hiroshima.toastmastersclubs.org/>
- ★ お問い合わせ：contact-844@toastmastersclubs.org (3回まで無料で見学できます。)

# Upcoming Events News

No.122

## 平成24(2012)年10月分

※それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせください。

日	内 容
7日 (日)	<p><b>Help build their future フィリピン・セブのストリートチルドレンに文房具を贈ります</b></p> <p>時 間 10:00~14:00 場 所 広島YMCAチャリティバザー 問合先 広島フィリピン友好協会事務局 谷川 TEL: 082-261-4381 このバザーまで、みなさまの暖かい善意をご持参ください。 (鉛筆・消しゴム・ボールペン・クレヨン・ノート・塗り絵・通学用手提げ鞄等)</p>
14日 (日)	<p><b>第4回世界食糧デー広島大会</b></p> <p>テーマ 「ハンガーゼロの世界を目指して…平和と飢餓」 定 員 400名 内 容 講演や音楽 ゲスト 東京基督教大学 学長 倉沢 正則氏 他 参加費 無料（会場での募金のご協力をお願いします） 募金先 南スーダン：ルンベック村学校支援プロジェクト ルワンダ：青少年育成プロジェクト・平和構築プロジェクト ケニア：ソマリア難民支援 ニジェール：食糧支援・地域リーダー育成支援 時 間 15:00~17:00 場 所 広島女学院中学・高校 ゲーンズホール（広島市中区上幟町11-32） 問合先 (一財)日本国際飢餓対策機構 広島事務所 宿利 TEL: 082-546-9036 FAX: 082-546-9037 E-Mail kshukuri@jifh.org</p>
27日 (土)	<p><b>“枯葉剤被害児”救援&amp;“東日本大震災被災者”支援チャリティコンサート</b></p> <p>時 間 13:00開場 14:00開演（公演時間2時間） 場 所 東広島市中央生涯学習センター「大ホール」 定 員 900名 参加費 一般 前売り：2,500円（当日：2,900円） 高校生以下 前売り：1,000円（当日：1,500円） 問合先 広島ベトナム平和友好協会（HVPF）事務局 赤木 達男（HVPF専務理事） TEL: 082-423-7235 E-Mail akagi@mbox.co.jp</p>
27日 (土)	<p><b>広島フィリピン友好協会交流会</b></p> <p>時 間 17:30~20:30 場 所 広島市留学生会館 参加費 500円 問合先 広島フィリピン友好協会事務局 谷川 TEL: 082-261-4381</p>

## 平成24(2012)年11月分

※それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせください。

日	内 容
3日 (土・祝)	<p><b>上田宗箇流和風会『縮景園菊見茶会』</b></p> <p>日本の秋を代表する菊花の薫る文化の日に、菊花を愛でながら、お茶をいただきます。 ぼてぼて茶は「約200年前松江藩主松平不昧公が、凶作に悩む領民のために倉庫に残っていた穀物に茶の花を入れた茶粥を作り、漬物を入れて与えた」との故事に因るもので、現在は煮豆昆布を入れたお茶をたしなみます。 本席（清風館席）とぼてぼて茶席（清風館前芝生広場席）があります。</p> <p>時 間 10:00~15:00（受付時間） 場 所 広島県縮景園 参加費 1,400円 入園料 無料（文化の日のため） 問合先 上田宗箇流和風会 担当者 佐々木 育生（事務局長） TEL: 082-271-5307</p>

## 平成24(2012)年12月分

※それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせください。

日	内 容
9日 (日)	<p><b>第11回中学生英語暗唱大会・外国人日本語スピーチコンテスト</b></p> <p>定 員 中学生20組 外国人5名</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中学生英語暗唱大会 府中町在住の中学生対象。学校で使っている教科書から抜粋して暗唱する。小学生と高校生のゲストスピーチあり。</li><li>・外国人日本語スピーチコンテスト 府中町及び近隣在住の外国人対象。テーマは自由。4分以内の日本語によるスピーチ。</li></ul> <p>※参加についてはそれぞれ参加資格がありますが、参観は自由です。どなたでもご覧になっていただけます。</p> <p>時 間 13:00~17:00 場 所 くすのきプラザ 1F ギャラリー 問合先 府中町国際交流協会 石田 TEL: 082-285-6711 (毎週火・木 9:00~12:00) FAX: 同じ E-Mail futyukoryukyokai@if-n.ne.jp URL aki-fuchu.jp</p>

## 国際交流ひろば

### 外国人に対する地域連携支援の取組みについて

今回は、広島弁護士会所属の滑川和也弁護士が携わっている、海田町・広島弁護士会の連携による、外国人の無料法律相談をご紹介します。

外国人のみなさん、日本で暮らしていく中で、法的な問題を抱えていませんか。

外国人のパートナーを持つみなさん、パートナーの方は法的な問題を抱えていませんか。

広島県には約4万人の外国人が暮らしていますが、法律をめぐるトラブルを抱えている方は多いと思います。在留資格、国際結婚や離婚、雇用、住居のトラブル、外国人コミュニティにおける消費者被害など、外国人が日本で暮らしていく中で起こる法律問題は様々にあります。

しかし、外国人は、日本語がよくわからないという言葉の壁、在留資格の基準がわからない、自国と日本のどちらの法律で解決するのかわからない、日本の法律がわからないなどの情報の不足により最初の一歩からわからないことづくしになります。

それにも関わらず、外国人が弁護士へアクセスし、支援を得ることは容易ではありません。

弁護士の側も、外国人案件は、入国管理に関する法規、渉外事件の特有性、外国人の文化的背景の理解、外国法の理解、通訳・翻訳の確保などの問題があり十分な法的サービスを提供できていません。

このような外国人のリーガルアクセス障害を解消し、弁護士の援助を必要とする外国人があまねく法的サービスを受けられるための第一歩として、広島弁護士会は、平成24年4月から海田町と連携して毎月第3木曜日に下記の要領で無料法律相談会を行っています。法的な問題を抱えている外国人の方、是非ご相談ください。

日 時 每月第3木曜日午後6:00~8:00 問合せ先 海田町企画部企画課 TEL(082)823-9212

場 所 海田町役場 広島みらい法律事務所 TEL(082)511-7772

通 訳 ポルトガル語、スペイン語

## 予告

### 医療通訳ボランティア養成講座を開催します！

登録ボランティアだけでなく、医療関係者等、幅広い層からの参加を期待しています。この機会に先進地の話を聞いて見識を拡げてみませんか？ 詳しくは、チラシやホームページでお知らせします（野口）。

#### 神奈川県から

- 日 時：平成24年11月4日(日) 13:30~18:00
- 会 場：ひろしま国際センター交流ホール(広島市中区中町)
- 内 容：  
(講師)NPO法人 多言語社会リソースかながわ(MICかながわ)  
1部【講演】(13:40~15:30)  
医療関係者から見た医療通訳の必要性と今後の課題  
—MIC神奈川の場合—  
2部【体験講座】(16:00~18:00)  
チャレンジしませんか、医療通訳一心構えと実践—

#### 兵庫県から

- 日 時：平成24年11月16日(金) 17:00~20:00
- 会 場：ひろしま国際センター交流ホール(広島市中区中町)
- 内 容：  
1部【講演】(17:00~18:00)  
「外国人患者で困らないために—ことばと文化の壁をこえて」  
講師：中村 安秀(大阪大学大学院人間科学研究科教授・小児科医・医療通訳士協議会会長)  
2部【ワークショップ】(18:30~20:00)  
医療通訳ハンドブックを使ったワークショップを行います。  
アドバイザー：中村 安秀  
ファシリテーター：吉富 志津代(多言語センターFACIL代表)



By Guillaume Lamothe

So, August has come and gone, and before I'd known it, one more year had passed with me still living in Japan. It has now been 3 full years, with a fourth now in progress. Faced with both this lengthening period of time and my marriage to a Japanese woman, I recently looked back to take stock of my life here and was somewhat surprised to realize that, at some point, I had become a bona fide expatriate, or expat for short. While I used to identify with the English teachers and other temporary residents in Japan who plan to return home soon, with time I have increasingly been finding myself feeling a part of Japanese society. That is not to say I feel Japanese, but I definitely no longer feel like a "guest" in Japan either. Indeed, we expats (I use "we" here because I am as guilty as anybody), inhabit this sort of nether-realm in-between countries, a strange place which separates us in subtle ways from both visitors and the native population, but which paradoxically gives us more in common with each other than we perhaps ourselves realize. Now, the expatriate life in Japan can be divided equally between 3 pastimes, with the odd cheap *onsen* thrown in. In no particular order, those pastimes are: drinking, karaoke (A.K.A. more drinking), and navel gazing.

I have myself been guilty of all three, with this article simply the latest example of my self-indulgent navel gazing. In fact, there has been a lot of expat navel gazing this past summer, following in the wake of (somewhat infamous) ex-Japan expat Debito Arudou's May article for the Japan Times on "microaggressions". The gist of the article went like this: Debito stays in Japan for 15 years. Debito gets asked if he can use chopsticks. Debito goes bonkers, and writes about it (in English, go figure) to convince all his Japanese doubters that yes, he bloody well can use chopsticks.



Now, whether or not this article actually accomplished anything in terms of improving mutual understanding, it nonetheless revealed a deep truth about the expat psyche. You see, there are few things that the Japan expat enjoys more than complaining, and foremost among our list of complaints is all the ways we think Japan has wronged us. Following closely behind that are the "royal three": the humidity, the bureaucracy, and people who try to use us for free *eikaiwa* lessons. After that, well, the list varies, but here are some of the major expat complaints that I felt might deserve a mention. This is not an exhaustive list.

- Expats who have been here for less time than we have (especially if they teach English.) They're just bandwagon jumpers. We were here back when it was the real Japan, when *konbini* beers cost 200 yen instead of 205, and *setsuden* was just a Japanese word we hadn't learned yet. Those were the days.

- Finding decent cheese in Japan. Seriously, you're telling us that the best 140 years of dairy production in Hokkaido can come up with is smoked stringy cheese that tastes like curdled milk from a cow's teat?

- Finding decent deodorant in Japan. So our armpits don't smell like said cheese.
- Kanto or Kansai, depending on where we did our school/university exchange. If we live(d) in Kanto, we abhor Kansai, and vice-versa.

- Foreigners on Japanese TV. They're just perpetuating reprehensible cultural stereotypes. They're tools of the Japanese propaganda machine. Japanese TV is stupid. And...and what do they have that we don't, anyways?

I could go on for pages, actually, but that would just be more navel gazing.

# Hirosshima Calendar

## Editor's notes:

Summer is over, and on we go for another year – that is, unless the Mayan “prophecy” was true and the world ends in December. If that’s the case, it was nice knowing you all. But if not, then let me wish you a happy Hallowe’en, Thanksgiving, Christmas, Hannukah, Kwanza, and New Year’s all rolled into one! If you have any questions or comments on my article, as always please feel free to e-mail me at hic05@hiroshima-ic.or.jp Stay sexy, Hiroshima - Guillaume

Date	Event	Location
October	Saijo Sake Festival – Drinks! Merriment! Rice!	Saijo
	Kikka Chrysanthemum Festival – watch gagaku in Miyajima for only ¥300!!	Itsukushima Shrine, Miyajima
	Senda Wasshoi Festival – shows and a flea market!	Higashi Senda-Machi Park
November	Hiroshima International Peace Marathon	Hiroshima City
	Hot Coal Walking – not for the faint of heart!	Daishoin Temple, Miyajima

## HIC交流部からのお知らせ

**予告 医療通訳ボランティア養成講座開催決定！！** [詳細は10ページ] (野口)

### ■就職活動実践セミナー開催決定！

日本での就職を考えている留学生のみなさんを対象に、就職活動に必要な知識や実践的なスキルを習得できる就職活動実践セミナーを11月に開催します。詳細は大学窓口でご覧ください。実践的なスキルを身に付けるチャンスです！ご応募お待ちしています。

(留学生活躍支援センター 平田)

### ■多文化共生シンポジウム 開催日決定！

みなさんは、「多文化共生」と聞いて何を想像されますか？昨年に引き続き2回目の開催となる今回のシンポジウムは、広島県における身近な活動例を聞きながら、より具体的・実践的な手法等について、参加者の皆様も一緒に今自分に何ができるのかを考えていただく機会にしたいと思います。詳細が決まりましたら、チラシやセンターのホームページ、ツイッターなどでお知らせします。(地主) ■日時：2013年2月9日(土)13:30～17:00 ■会場：広島国際会議場 中会議室「コスモス」

### ■「カンボジア・スタディツアー」実施のお知らせ

HICでは、平和貢献人材育成事業の一環として、本年度も独立行政法人国際協力機構中国国際センター（JICA中国）と共同でカンボジア・スタディツアーを実施します。

今回で9回目となるこのツアーではJICAが事業を実施している国際協力隊員の活動現場や地雷処理を行っている団体等への視察、またカンボジア現地で活躍している日本人やカンボジアの方と交流することで貴重な体験を得ることができます。

実施時期は平成25年2月中旬から6泊8日を予定しています。正式な日程及び募集要項については11月中旬を目安にHICとJICA中国のホームページに掲載する予定です。

国際協力や平和貢献に対する理解を深めていただく絶好の機会です。皆様のご参加をお待ちしております。(大藤)

### ■ツイッター始めました！

当センターの活動内容をいろいろご紹介します。ぜひ、ご覧になってくださいね。(河内)



〒730-0037

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階  
Crystal Plaza 6F, 8-18 Nakamachi, Naka-ku, Hiroshima 730-0037, Japan

#### ご質問・ご意見などご遠慮なくお寄せください

Any questions, suggestions, and criticism regarding HIC Tsushin can be addressed to:

TEL : (082)541-3777 FAX : (082)243-2001

URL (Japanese) <http://hiroshima-ic.or.jp/>  
(English) <http://hiroshima-ic.or.jp/hice>

E-mail:hic@hiroshima-ic.or.jp

